令和４年６月３日

関係各位

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

２０２２年世界選手権大会以降のパリオリンピック参加枠獲得大会の選手選考について

標記について、本協会選手強化委員会では５月２１日に委員会を開催しましたので、下記に通知いたします。

記

１　対象大会　・２０２３年５月アジア選手権大会（開催国：韓国）
・２０２３年４月～９月の間開催　ＩＷＦグランプリ大会Ｉ　（開催国：未定）
上記、開催期日が早い大会が対象となります。

２　対象階級　男子　１０階級
55kg 級、61kg 級、67kg 級、73kg 級、81kg 級、89kg 級、96kg 級、102kg 級、109kg 級、+109kg 級
女子　１０階級
45kg 級、49kg 級、55kg 級、59kg 級、64kg 級、71kg 級、76kg 級、81kg 級
87kg 級、+87kg 級

３　選考大会　〇令和３年７月から令和４年１２月末までの次の大会
（対象記録）　・令和３年　７月東京オリンピック大会
・令和３年１１月全日本選手権大会
・令和３年１１月、１２月全日本大学対抗選手権大会（男子２部、１部、女子）
・令和３年１２月世界選手権大会
・令和４年　４月全日本選手権大会　以上　終了

今後の大会
①令和４年１０月 国民体育大会
②令和４年１１月 全日本社会人選手権大会・全日本女子選抜選手権大会
③令和４年１１月、１２月全日本大学対抗選手権大会（男子２部、１部、女子）
④令和４年１２月 世界選手権大会　（令和４年８月からの国際大会も含む）

４　選考基準　２０２２世界選手権大会の選手選考時と同基準になります。
パリオリンピック実施５階級の２０２１年世界ランキングより８位相当記録（以後基準記録と称す）と下限記録（基準記録より－２５kg）を設定しました。基準記録との記録差で選考します。なお、対象記録は先に出した選手が優先になります。

		基準記録	下限記録
男子	61kg 級（55kg 級と 61kg 級）	・・・288kg	263kg
	73kg 級（67kg 級と 73kg 級）	・・・338kg	313kg
	89kg 級（81kg 級と 89kg 級）	・・・371kg	346kg
	102kg 級（96kg 級と 102kg 級）	・・・390kg	365kg
	+102kg 級（109kg 級と+109kg 級）	・・・425kg	400kg

女子	49kg 級（45kg 級と 49kg 級）	・・・183kg	158kg
	59kg 級（55kg 級と 59kg 級）	・・・217kg	192kg
	71kg 級（64kg 級と 71kg 級）	・・・232kg	207kg
	81kg 級（76kg 級と 81kg 級）	・・・244kg	219kg
	+81kg 級（87kg 級と+87kg 級）	・・・262kg	237kg

※（　　）内の非オリンピック階級出場者の記録も対象となります。

5　選考人数　男女とも１階級（オリンピック階級及び非オリンピック階級とも）２名以内、計１０名以内。

6　選考内容　①オリンピック階級の基準記録との記録差が少ない選手（１０名以内）を選考する。

・記録差が同じ場合は、対象記録を先に出した選手を優先する。

・オリンピック階級と非オリンピック階級とも２名以内を選考する。

・出場した階級より上の階級で選考する場合は、該当階級の選手より上の記録とする。

②選考は下限記録以上とする。

※選手選考については選手強化委員会で審議する。

7　そ の 他　①２０２４パリオリンピック出場参加資格は、次の７大会で◎印は必須出場大会、○印は選択できる大会となり、最低５大会出場が必要となります。

（詳細は２０２４パリオリンピック参加枠獲得システムを参照）

○2022（シニア）世界選手権大会：選手選考済み（５月２１日に決定）

○2023（シニア）大陸選手権大会（日本の該当はアジア選手権大会）

○2023 IWF グランプリ　Ⅰ

○2023 IWF グランプリ　Ⅱ

◎2023（シニア）世界選手権大会

○2024（シニア）大陸選手権大会（日本の該当はアジア選手権大会）

◎2024 IWF ワールドカップ

②２０２２．０５．２１時点で IWF 情報を基に選考基準を作成しているため、今後 IWF のパリオリンピック参加枠獲得システム内容に変更があった場合等は、再度審議いたします。

以上